

## 平成14年度神戸地域ビジョン委員会の取り組み

### 1 県民行動プログラム実践活動の開始

神戸地域ビジョン委員会で、平成13年9月から熱心に議論を続けてきた「県民行動プログラム」。「楽しいまち・神戸」の実現に向け具体的な実践活動を進めるにあたり、活動の分野や取り組み手法などいろいろな角度から活用でき、地域の交流と活動を高めるための手がかりを集めた提案集(第1集)として、平成14年3月にまとめられたものです。

平成14年度は当初から、このプログラムを夢会議などで広く普及啓発するとともに、また委員を中心とした実践が開始されるなど、活動の輪を広げることの取り組みがはじまりました。

### 2 夢会議「七夕祭り」の開催

7月7日、井戸知事も出席し、平成14年度第1回の神戸地域夢会議が兵庫県公館で開催されました。会議では250人が参加して、県民行動プログラムや行政推進プログラムなどのプレゼンテーションの後、ビジョン委員をパネラーとして、パネルディスカッションが行われました。このディスカッションでは、ビジョン委員会自ら取り組もうとする活動について具体的な提案が行われ、「この指とまれ!!」と県民の皆さんの参加を呼びかけました。

呼びかけは、「地域井戸端会議」、「楽校をつくろう」、「ストリート・ガーデニングによる明るいまちづくり」、「地域円卓会議」、「公共施設の利用研究会」、「「農」を知り、理解するプログラム」、「六甲山を活かすプログラム」、「留学生と地域コミュニティとのコーディネート」、「地域の拠点をめざす商店街の知恵を集める」と幅広い分野に及んでいます。

これらの呼びかけをスタートとして、複数委員グループによる実践活動がはじまりました。

### 3 委員グループによる実践活動の展開と夢会議の開催

これらグループでは、研究会や検討会の開催や、地域での具体的な実施を行うとともに、活動を進める上での課題についてより多くの方のご意見を聞いたり、生まれてきたアイデアを実験的に試みたりするため、夢会議を開催するなど活動の輪を広げながら、様々な取り組みが進められてきました。

それぞれのグループが中心となった夢会議については、平成14年11月以降、9回開催され、「にぎわいフォーラム」「地域の核をめざす商店街を考える」「留

学生が地域で活躍できる仕組みを考える」「楽校ネットをつくろう」とフォーラムや会議方式、「農都・神戸を訪ねる(西区編)、(北区編)」「六甲山の楽しみ方発見(初冬編)、(早春編)」「公共の場 利用事例見学会」と現地調査方式による開催と手法も工夫して行われました。

#### 4 委員の所属団体等でのミニ夢会議の開催

地域での委員所属団体等では、委員が主体的に取り組み、神戸地域ビジョンや県民行動プログラム、実践活動の普及啓発を行う「ミニ夢会議」が開催されました。平成 14 年度の開催回数は 19 回となっていますが、神戸県民局も依頼を受け、説明に出向くなど協働作業に取り組みました。

#### 5 神戸地域ビジョンネットワークによる連携・交流

平成 13 年度から発行された神戸地域ビジョンネットワーク情報誌「神戸ゆめネット」は、14 年 7 月、10 月、15 年 1 月、3 月発行し、夢会議等県民行動プログラムに関する最新情報、委員等の所属団体の活動紹介、イベント情報など地域づくりの実践活動に取り組む団体・グループ・個人の連携・交流を進めてきています。

さらに、15 年 1 月 24 日にはホームページ「WEB 版神戸ゆめネット」を開設し、神戸地域ビジョン、県民行動プログラムなどの概要、PDF ファイルによる情報誌「神戸ゆめネット」の全容、各種イベント開催の情報などをインターネット上で提供することとしました。

#### 7 ビジョン委員会・部会の開催

これらの取り組みを進める上で、鍵となったのがビジョン委員会、部会です。各部会は、年度当初開催され進め方を協議するとともに、年度末には総会と部会が開催され活動のとりまとめと交流を行いました。

#### (参考 地域間交流実践活動への支援)

神戸市内で地域づくり活動に取り組む団体・グループ同士が行う、相互の交流を通じての連携強化を目指し、情報交換会や研修会等が行われました。神戸県民局が支援するこの事業は、神戸地域ビジョンの趣旨に賛同したこれらの活動は本年度 10 件となり、活動グループのコミュニケーション・チャンネルを広げる取り組みの一つとなっています。